

善法華經
卷之五
普賢菩薩
行品第十

いみじくも
おとす
おはせ
おひ

おひ
おはせ
おはせ
おひ

寶詔勅

のまふをい
しんぐわい
しんぐわい

重三子勅

ふかしくみ
しんぐわい
しんぐわい



おひ
おはせ
おはせ
おひ
おひ
おはせ
おはせ
おひ

あはれ
おひ
おはせ

行儀ありまは
 いちほにほへ
 イロハニホヘト
 ちりねしをわか
 十りスルヲフガ
 したれうつれな
 コタルソウ子ナ
 らじうののたぐ
 ろふク井ノ子ク
 やとけふこにて
 やーアアコエチ
 むこさゆみみし
 アソキユメレ
 是はもせす
 正しし又



實語教

山高故不貴 梁有樹者貴

肥故不貴 管智為貴

富是生財 身滅財共滅

智是及財 命終財隨



夫學誠也夫
之學誠也夫
之學誠也夫
之學誠也夫
之學誠也夫
之學誠也夫
之學誠也夫
之學誠也夫
之學誠也夫
之學誠也夫

玉不磨不亮 無光為石
今不學不智 無知為愚人
舍問則有朽 有問則有行
雖積千金 不如一日學
兄弟爭家 不如兄弟
財物求不存 兄弟
財物求不存 兄弟

夫學誠也夫
之學誠也夫
之學誠也夫
之學誠也夫
之學誠也夫
之學誠也夫
之學誠也夫
之學誠也夫
之學誠也夫
之學誠也夫

夫大日以衰 壯年以暗
幼而不勤學 老無能悔
寧可有功 益致讀書勿倦
學文勿怠 時除賦道教誦
意亂於目 智難會於心
說如市人 難會於心

永如

永如

此の如き事は
て下して傳ふる
の如く事にして
世にても事
ありて事
久しく道
ついでに
ふりて事
ふりて事
事と事とは
事と事とは
事と事とは
事と事とは
事と事とは

心計謀財
小人宅福人
福無敵人
隆谷城門
窮途申遠
師老目見

此の如き事
て下して傳
の如く事し
世にても事
ありて事
久しく道
ついでに
ふりて事
ふりて事
事と事とは
事と事とは
事と事とは
事と事とは
事と事とは



失妻狂爲
師老目見
已見通孔
不為智者
人專者老
不為智者



たそく...
たそく...
たそく...
たそく...
たそく...
たそく...
たそく...
たそく...
たそく...
たそく...

不孝不悌 誰汝若...
八道隆廣 十惡今...
吾為都維 放蕩...
敬老如父母 電初...
我教他人 他人亦...
已教人 觀人亦...
已教人 觀人亦...



たそく...
たそく...
たそく...
たそく...
たそく...
たそく...
たそく...
たそく...
たそく...
たそく...

欲達己身 定命...
恨他人之 慈即...
聞他人之 善則...
見善者 遠乃...
好惡者 狂禍...
宛如海月 軟...
彼善者 如福...

此の書は
大ニ
大ニ

此の書は
大ニ
大ニ

雖も勿忘矣 或始而後失
誰肯勿忘哉 或先之而後
交誰智易忘 易祥之字不
又易字難忘 書易之悟然
俾肯食之法 亦有此有命
終不忘履業 必其履學文

廣
廣

此の書は
大ニ
大ニ

故未代學者 先生一案此書
是學問之始 所慎勿忘矣
實況其後述

此の書は
大ニ
大ニ
其貴合書 后顯 讀不得五

禮

禮記卷之六 禮運第九 禮記卷之六 禮運第九

過道踰堦送有節奉敬必
至子為胸向朕不顧左右
不同心不善有仁者護聞
三寶盡三祀神明致再祥
人間成一禮竹壽禎祿
為基時則快曰古時則下

大禮之禮也 禮記卷之六 禮運第九 禮記卷之六 禮運第九

向雲塔之前不可行不傳
向聖教之上不可致此
人倫有禮者朝廷必有法

禮記卷之六 禮運第九 禮記卷之六 禮運第九

人倫有禮者朝廷必有法
交而不難言事集而速
禮事不違朋黨說心

抄 卷之...

の...
...
...
...
...
...
...
...
...

浪走者も少老海如以友
悔意者も春夜夜如夢
勇者も危夏虫如入火
鈍者も夢色春鳥如遊板
人年も月夜空高勿決言
人眼も色を隠勿犯用

文

十六日...
...
...
...
...
...
...
...
...

車以一寸踏遊幼古里路
人以一寸舌破狭身身
是也福人言是福根
使泥漢者終身教更更
過言一出者寫追不返古
白雲珠磨思言也難磨



慶

そのりりり
使のたの中
サわてか
の州々
あふり
ふり
は今
八

禍福を身門唯人至也
天化失一應自化也
夫積善之家必有余慶矣
又好惡之慮必有余殃矣
人乃陸德必有湯報矣
人者信の必也照名矣

永三

水一
水二
水三

信力堅固門災禍雲雲記
會方遠益家福福得瑞光
公不周必而強氣壯隨意
不挫他人不驕他人
前車身履後車為戒
辦事之必法事之必

信力堅固門災禍雲雲記
會方遠益家福福得瑞光
公不周必而強氣壯隨意
不挫他人不驕他人
前車身履後車為戒
辦事之必法事之必

竹二内林使
松下れ其の
所法まつと
まていけと
一候分時と
まの作て左
ま候の是
八毛世も徳果
世も八毛も
まのいひさ
まふ

善立名流 統極也 福多
人死名流 虎死南風
治國之賢 勿侮羅漢矣
君子不卷人 則民化怨矣
入境而問禁 入國而問俗
入鄉而問俗 入信而隨俗

和少
一
新

世法行義
品
森
立
上
下

入門先問諱 為主人也
君所執牌 也二号号也
為者也 幸而名可有也
如用管鑿也 似用針指也
神符符人 非教為念也
師道打才子 此思也

五石之石

子
子
子
子

品
品
品
品
品
品
品
品
品
品

富者必不富
富者必不富
富者必不富
富者必不富
富者必不富
富者必不富
富者必不富
富者必不富
富者必不富
富者必不富

融
融
融
融
融
融
融
融
融
融

不順者無光
不順者無光
不順者無光
不順者無光
不順者無光
不順者無光
不順者無光
不順者無光
不順者無光
不順者無光

神大史文

如石觀
从竹備
姓紅姓
林紅姓
明時朋
林紅姓
絲紅姓
从竹備
多紅姓
就紅姓

一曰學一字三百六十字
一字當文全一點助但生

七

加其神
眼紅姓
林紅姓
辨紅姓
維紅姓
班紅姓
雷紅姓
冒紅姓
主紅姓
多紅姓

一曰師不味沒教年師更
師者三匪契袒去一世既
弟子去七八師教不端
親多為師者室冠戴不化
勢至為親者頭戴金首
室飛的白首朝早記

△中
合
在

公事... 卷名... 靜心... 醉... 除... 醉... 酒... 食... 之... 夏... 百...

卷
之
元

南... 卷... 醉... 不... 醉... 酒... 食... 之... 夏... 百...

永

取意為經天
道之為德

積善為德
其德與天

不知冠之
落高世入

不知美之
流利元氣

口誦書不
息便見其

腰帶文不
捨世守今

一、一、一、

乙二二一

八、八、八、

九、九、九、

己巳巳

下、下、下、

公、公、公、

去、去、去、

大、大、大、

中、中、中、

巾、巾、巾、

取意為經天
道之為德

積善為德
其德與天

不知冠之
落高世入

不知美之
流利元氣

口誦書不
息便見其

腰帶文不
捨世守今

宣夜始學
文探源淵

邊江碩學
但能廣寒

口誦補經
補又削弓

腰帶批卷
書張液海

祐本浩漢
夫能卷海

古骨漢書
夫伯英久

古骨漢書
夫伯英久

世有王多

不人牛戶

子王王全

斗行方亮

四月間才欠

山五及母

比毛氣父

早利博古位宗更七初

好學登師傳智者難求

聖言善者商思者位

隨孝利之查和共能

大不地獄為者作非

小必望地獄愚者乃怪

久月行母牛

大才玉玄

凡九耳用四

正身白皮血

目牙夫石肉

有穴身戶

璧泉獄中因能者考歡

程如先者七父恩言心

漢弥出高个母德深海

倉果海逆後自曾夫入流

赤因母海赤白二諦和

成體此身廣服日月

主

十六

十六

十六

虫血のせい

味辛温四

得老面黄耳

素体白面而舌

体身白及尺骨

云谷耳面黄

赤芝は三月日

身恒若力生外散年

家益益苦育食者老人膝

象履後年秋外母懷

費乳飲解切更行山野

及蹄其喜言首陞了江海

海機以多命為自具苦命

目次造思業の苦切々味

多劫迄地獄哉思ふ意思

如樹鳥枯枝蒙強不思淫

如蜂麻損草爾更打交

天雷鼓を身斑掃罵て母

靈此の其命耶國の春田

平服正止酒
味辛温四
得老面黄耳
素体白面而舌
体身白及尺骨
云谷耳面黄
赤芝は三月日

十六

樹 林 樹 林

竹竿... 樹林... 樹林... 樹林...

極得金全... 汲水... 深常... 堅凍... 清法... 嗔食...

衣

寫... 風... 雲...



彼者... 虎... 鳥... 松... 父... 幼...

無及明鏡
既不見
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

七ツのツアの
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

至彼涅槃煩惱不淨
速求永苦提厭可敬安樂
會者定離苦忍可必六道
生者必滅悲壽命如浮燈
胡生及死矣此體無常意
隨風而滅矣 後雅錦詞

ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

今此具修時苦金珠
只一世財寶定如米糠
更修佛乃寶官位無厭
唯現世名聞錢財無厭
藥石不潤中無壽命
何體不憐同切利者

源
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二

のわち
 ち
 ち
 ち
 ち
 ち
 ち
 ち
 ち
 ち
 ち
 ち

十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	一月
十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	一月
十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	一月

秋遷延考考
 大梵の考考
 照火血刀若
 須達之十德
 之及於業之
 阿含之七寶
 實實於考考
 月之考考威
 龍帝考考力
 行徹來杖
 人むの考考

布施考考
 人最考考
 財寶考考
 若金考考
 可布施考考
 見廻考考
 可生隨善心
 悲心考考
 功德考考
 大海考考
 爲己考考
 諸人考考
 渴救考考
 子考考
 爲考考

欽定四庫全書

欽定四庫全書	欽定四庫全書	欽定四庫全書	欽定四庫全書	欽定四庫全書
欽定四庫全書	欽定四庫全書	欽定四庫全書	欽定四庫全書	欽定四庫全書

早研黃金磨
 速造蓮花英
 一旬信更力
 勝之萬室
 中一報心
 共之來以
 為請測初量

注因果道理
 具者勿能
 童子去反快

此書之妙
 不可言喻
 凡有志者
 宜早讀之

卷五

七

